

大鹿村中央構造線博物館たより 80号



月・火曜日休館

TEL&FAX: (0265) 39-2205 E-mail: mtl-muse@osk.janis.or.jp

新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願い致します。

今年1月より、大鹿村に住民票のある方は、大鹿村中央構造線博物館とろくべん館の入館料が無料になりました。どうぞお気軽にお越しください。

西方見聞録「世界はこんなふうだった」ネパール編

大鹿村 塩河在住の伊東一郎さんによるスライド上映会

第1話 1月10日(日) 【終了しました。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました】

第2話 1月24日(日) アンナプルナ外周、カリガンダキ川流域

第3話 2月7日(日) アンナプルナ内院、ヒマラヤ遊覧飛行、中部山間地帯、
カンチェンジュンガ地域

第4話 2月21日(日) タライ平野、ダウリギリ山群

- 時間：午後2時～4時
- 場所：大鹿村中央構造線博物館 学習室
- 入場無料・申込不要

主催：大鹿村中央構造線博物館 (TEL. 0265-39-2205)

講演会のお知らせ

エコパークってなんだろう？

- 講師：若松 伸彦さん (東京農業大学 講師、南アルプス市ユネスコエコパーク推進室 専門員)
- 日時：3月5日(土) 午後2時～4時
- 場所：大鹿村中央構造線博物館 学習室

2014年6月、南アルプスが生物圏保存地域 (日本ではユネスコエコパークとも呼ばれています) に登録されました。大鹿村は全村が指定地域に含まれています。

でも、エコパークっていったいなんだろう？ エコパークを知り、大鹿村民が何をやっていくか、一緒に考えます。また、南アルプスの植物についてもお話しいたします。参加無料・申込不要。

西方見聞録「世界はこんなふうだった」第1話を開催しました

1月10日(日)、大鹿村 塩河在住の伊東一郎さんによるスライド上映会、西方見聞録『世界はこんなふうだった』ネパール編の第1話を開催しました。

今回はカトマンズ盆地、ランタン溪谷、エベレスト街道での写真を上映しました。参加者は約30名で、大鹿村内から多くの方が参加して下さいました。

カトマンズ盆地はヒマラヤ山脈に囲まれた、ネパールの首都カトマンズのある標高1300mほどの盆地一帯を指します。都市には歴史ある王宮や寺院、遺跡が残っており、芸術性、文化性の高さからユネスコの世界文化遺産に登録されています。



ネパール地図：旅行のとも ZenTech (<http://www.2m.biglobe.ne.jp/ZenTech/world/map.htm>) より

ランタン溪谷はカトマンズの北方、チベットとの国境付近に位置し、溪谷を含めた周辺地域はランタン国立公園に指定されています。南部の高地にはヒンドゥー教の聖地であるゴサイクンダという湖があります。暖かい時期には巡礼者が沐浴に訪れるそうです。湖の周囲には何もないため、写真の背景がすぐに広大な青空となっている様子が印象的でした。

エベレスト街道は世界最高峰エベレスト(標高8848m)のベースキャンプまで続く山道で、トレッキングコースにもなっています。カミソリのように鋭く急斜面の山々や、氷河に削られてできた地形など、厳しくも美しい自然を感じることができました。

どの写真も異国情緒あふれ、見ていると自分もそこへ行ったような気分になります。現地の人々の暮らしぶりなど、実際に行かなければわからないことも多く、初回から興味深い上映会となりました。

次回は1月24日(日)です。途中回のみでの参加でもお楽しみいただけます。皆様のご参加、お待ちしております。(榊原)



博物館のヒマラヤ関係の蔵書。誰でも閲覧できます。

大鹿の大地をちょっと見る観察会

3月12日(土) 大河原の平地はどのようにしてできたか

大鹿小学校のボーリングコアの観察、河原のでき方実験、上市場の河床れきなど

3月26日(土) 大河原を中央構造線をまたいで歩く

右馬允下の蛇紋岩、城の腰露頭、大西公園の鹿塩マイロナイトなど

● 時間：午後1時～4時(午後1時、大鹿村中央構造線博物館 集合)・参加無料

● 内容が変更になる場合がございます。詳細は大鹿村中央構造線博物館まで(TEL. 0265-39-2205)